



研究開発の夢をみよう

会 長 坂 本 全

我国経済全体にとっても、又個別の企業にとっても、今や研究開発の重要性は改めて言うまでもない。国の存亡、国民の生死を賭した戦争中に技術の進歩が著しかったことは歴史の証するところであるが、現在の我国は円高と通商摩擦の激化とで所謂産業空洞化の危機に直面している。即ちメーカーは海外に工場を移転せざるを得なくなったり、或いは輸入製品の急増等で生産規模の縮小を余儀無くされたりする結果、国内の雇用機会の減少は急速に進んでおり、政府の内需拡大政策だけでは仲々防ぎきれない様である。要するに爆弾は落ちてこないけれど我国は將に国家の盛衰、企業の興亡をかけた経済戦争の真只中にあるといえよう。従って今後の発展が見込まれる先端技術分野（新素材、バイオテクノロジー、マイクロエレクトロニクス）への進出及び既存事業分野に於ける技術革新は企業生き残りの必須条件であり、研究開発の重要性が強調される所以である。

それではどうすれば創造的な研究開発、すぐれたアイデアの発見をもたらすことが出来るのであろうか。論理的に考えれば色々な要素や条件の整備が考えられよう。然し研究開発をする主体は人間である。まず人間、即ちすぐたれ研究実績をあげた先人の意見をきいてみよう。

十九世紀のドイツの化学者ケクレは、——御存知の通りベンゼンの構造を解明したことで有名。——「夢に学ぼう。そうすることで真理に至るであろう。」と言っている。彼は連日の研究で疲れ切って眠り込んでしまったが、その時六匹の猿が夫々別の猿の足を握って一つの輪になっている夢をみてベンゼンの構造を思いついたといわれている。メンデレーエフの「元素の周期表」発見も又夢によってであった。

兔に角夢中になって研究テーマに取組んでいこう。そうすれば何時か夢の中でヒントが見つかるに違いない。散々苦心し努力したあとで素晴らしいヒント、アイデアを発見した時のよろこび、それ以降の仕事の楽しさは大なり小なり多くの人々が経験していることと思う。私の小さな経験でもいくつかそういうことがあったので、今でも私は夢をみたら必ず寝呆け眼をこすりながらメモすることになっている。眼が完全に醒めてから改めてみると荒唐無稽なものがほとんどだが、それは昼間夢中になって考えた程度換言すれば夢中になった度合いが未だ不十分だったからだと思う。

研究開発の夢を見よう。そうすれば夢は必ず実現されるであろう。